

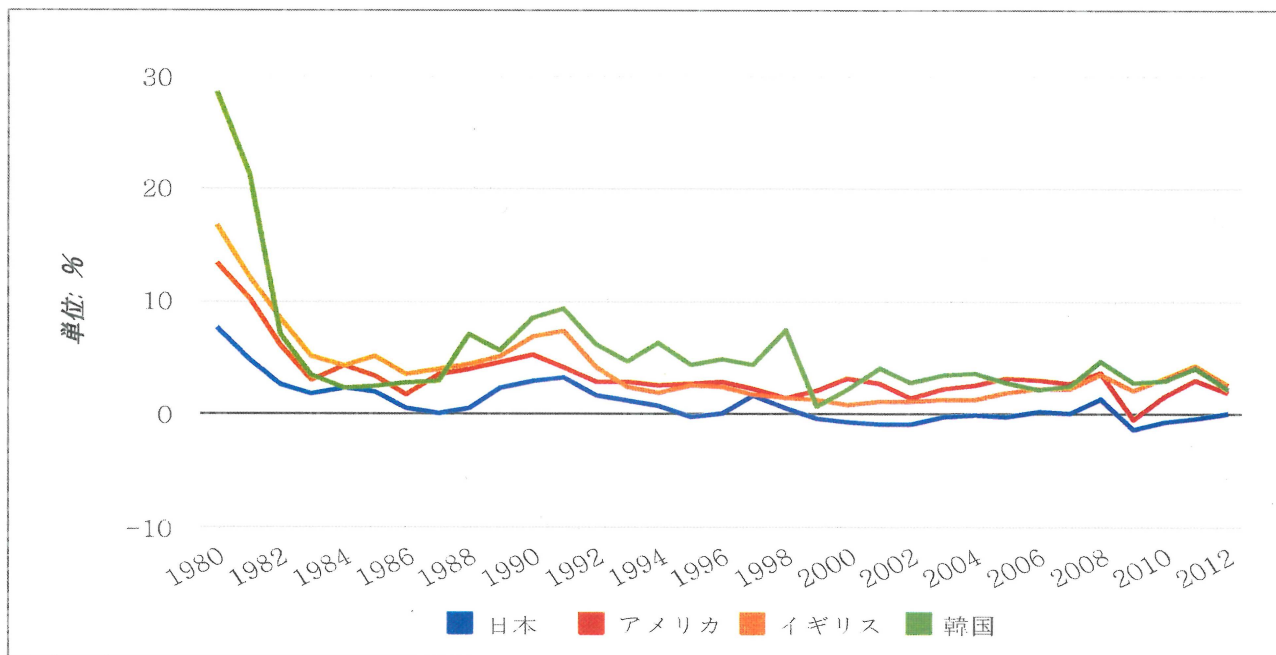


いつもお世話になっております。今月号の事務所だよりをお届けしますので、ご査収下さいますようお願い申し上げます。

インフレとデフレについて考えて見ました。

国の借金が、1000兆円を超えたそうです、国民の金融資産は1500兆円もあるそうです。ホントかどうか？わかりませんが、これに近い金額の借金と資産があるとは思いますが。政権が変わっても、すぐ何とかなるものではありませんね。

日本は、長い期間 20年もデフレ経済だと言われていました。インフレ率(前年に比べて物の値段が上がった割合)のデータがありました、面白かったので日本・アメリカ・イギリス・韓国について表にしてみました。



	過去10年間のインフレ率 (2003年から2012年まで)	過去20年間のインフレ率 (1993年から2012年まで)
日本	-1.16%	0.54%
アメリカ	25.66%	43.32%
イギリス	24.68%	47.87%
韓国	31.26%	73.59%

- この10年間、日本は **-1.16%のデフレ**でした。これは諸外国に比べ突出しています。つまり、20年前に500円だったランチが、10年前には508円、今は502円とほとんど変わっていません。しかしここ5年で見ると、デフレ率が2.3%もあり、500円のランチですら12円も安くなっています。
バブル崩壊後、諸外国に比べ金利を低く設定しなくてはならず、企業や金融機関の持つ不良債権もゆっくりと処理できたと思います。しかし国の借金は増え続けてしまいました。
- 1ドル84円(12月現在)は適正でしょうか？**
アメリカがこの10年で25.66%、20年では43.32%のインフレになっています。日本が、横ばいなので10年前には1ドル105円、20年前には120円が理論上の為替水準だったと思います。為替は他の要因が大きく影響するので一概に言えませんが大体あっています。
今後、円高・円安どちらに向かうか？ **インフレ率とリンクしてゆくことは間違いありません。**
- 政府が「**インフレ目標3%**」などと言うとんでもないことを言いました。日銀の総裁はそれに対し、バブル期でも2%台だったのに3%なんてありえへん！と言い返していました。
歯止めが利かないインフレになったら日本は崩壊してしまいます。適度なインフレ政策が必要だと。
- 10年で10%弱、年間1%程度のインフレで、10年後の為替は1ドル90円台。これが適度な落としどころでしょうか？ 輪転機で国債・日本銀行券(福沢さん)を刷れば何とでもなります。
諸外国も、インフレ率は低下傾向にあります。今後どうなるかは誰にもわかりませんが...